

## 教育と研究を両輪とする大学教育の在り方に関する検討について（案） （検討の観点例）

論点整理案の記述から抜粋

### 1 教育と研究を両輪とする大学教育

- 各大学におけるFD（ファカルティ・ディベロップメント）などを通じて、「教育」か「研究」かという二者選択ではなく、「教育」も「研究」もという意識の重要性を各教員に再確認してもらうことが必要ではないか。

#### 【検討の観点例】

- ・ どのようなFDを実施することが有効と考えられるのか。

- 全ての教員が等しく「教育」も「研究」もという訳ではなく、組織及び各教員の特性やミッションに応じて、「教育」や「研究」の重点の置き方に、メリハリをつけることも重要ではないか。

#### 【検討の観点例】

- ・ 教育を重視する教員や研究を重視する教員などに役割を分化することについてどう考えるのか。（例えば、リサーチプロフェッサーやティーチングプロフェッサーのような仕組み（役割・処遇等）についてどう考えるのか。）

- 教育活動においては教員自身の専門とする関連領域を広く俯瞰し、研究活動における社会的・学問的意義を十分に理解した上で、組織的かつ体系的な教育課程に沿って、学生に対する教育や研究指導を行うことが必要ではないか。

#### 【検討の観点例】

- ・ 教員が自身の専門性を広く俯瞰し、研究活動における意義等を十分に理解した上で、組織的かつ体系的な教育課程に沿って、学生に対する教育や研究指導を実施するためにどのような仕組み（教員個人、大学全体での取組等）が必要と考えられるのか。

## 2 大学教員の在り方

- 大学の特徴やミッションは様々であることから、各大学において教員の採用を行うに当たっては、それぞれのミッション等に基づき、求める人材像を明確にするとともに、教員に期待する役割などを予め明示することが必要ではないか。この際、教育に重点を置くのか、あるいは研究に重点を置くのか、あるいは教育研究のエフォートなどを示すことも考えられるのではないか。
- 各大学において教育研究機能の活性化を図るためには、それぞれの大学に相応しい教員評価システムを運用し、採用時のみならず、任期のない安定的な職（テニュア）を得た後も、教育研究機能のパフォーマンスを最大限に発揮することを目的として、教員の業績を適正に把握し、定期的に評価を行うことが必要ではないか。また、各大学において教員評価が効果的に行われるよう、国内外の先進的な事例や参考となり得る指標などを例示することが必要ではないか。
- 教員評価は、各大学の評価基準や方法に基づき実施されるものであるが、組織の特性を考慮するとともに、研究業績のみならず教育業績や研究指導を含むゼミ・研究室運営等についても評価軸として盛り込むことが考えられ、部局長や同僚などのほか、学生からの評価も含めた多面的な評価を実施することが必要ではないか。
- 教員評価を通じて、その結果が教員の意識改革や行動変容に資するという評価の精度を高めることで、教員一人ひとりが評価結果を真摯に受け止め不断の見直しに努めることが強く期待される場所であるが、大学のミッション等に基づき教育研究活動の改善に努めようとしなない者に対しては、各大学が厳しい姿勢で対応することが必要ではないか。

### 【検討の観点例】

- ・大学のミッション等に基づき求める人材像を明確にするなど、教員採用において明確にしておく要素として考えられるものは何か。
- ・各大学において教員評価システムを実質化するために必要なこととしてどのようなことが考えられるのか。
- ・教員評価の評価軸として考えられるものは何か。また、多面的な評価としてどのような仕組みが考えられるのか。
- ・教員評価の意義について、大学執行部のみならず、教員一人ひとりが意識するための工夫としてどのようなことが考えられるのか。

### 3 教育研究機能の活性化

- 本分科会で策定した「教学マネジメント指針」を参考にしつつ、各大学において教育の質保証に取り組むことが必要であるが、特に、教育課程の編成において、授業科目の内容が教員一人ひとりの裁量に依存することなく、授業を担当する教員間での連携・調整（チーム・ティーチング）を図ることで授業科目を絞り込むなど、学生の知識・能力を伸ばさせるための学修者本位の教育へと転換することが必要ではないか。

#### 【検討の観点例】

- ・ 組織的かつ体系的な教育課程を編成し、実施する上で、教員間の連携を十分に図り、効果的なチーム・ティーチングを実現するために必要なこととしてどのようなことが考えられるのか。
- ・ 一つの授業科目又は科目群において、専門領域の異なる教員がグループとして、関連領域を広く俯瞰した教育を行うことで内容の魅力と質の向上が期待されるが、そのための仕組みとしてどのようなことが考えられるのか。

- 教育支援の観点では、大学教員の授業負担の軽減や、学生の深い学習を両立させるため、TA（ティーチング・アシスタント）による授業支援の充実を図るとともに、特に博士課程学生の教育研究については、大学での研究活動を通じて学生が十分な研究能力を身に付ける教育に資するRA（リサーチ・アシスタント）の活用・充実が効果的であり、研究活動に対する適正な対価が払われることを当たり前としつつ、各大学において積極的に導入することが望まれる。あわせて、TA・RAの処遇や環境を向上させることが極めて重要であり、大学内における抜本的な意識改革が必要なのではないか。
- 研究支援の観点では、大学教員の研究活動をサポートする技術職員や、研究戦略立案や研究マネジメント、産学連携等の支援を行うURA（リサーチ・アドミニストレーター）等の高度な専門職人材の配置と育成により、チームとして研究環境の整備が一層推進されることが期待される。各大学の人事戦略の中でURA等の高度専門職人材の位置づけを明確にし、キャリアパスを確立していくことが必要ではないか。

#### 【検討の観点例】

- ・ TA、RAが担う役割としてどのようなことが考えられるのか。また、その役割を十分に果たすためにどのような能力開発の仕組みが考えられるのか。
- ・ TA、RAの処遇や環境を向上させるために必要なことは何か。
- ・ 技術職員、URA等が担う役割としてどのようなことが考えられるのか。
- ・ 技術職員、URA等のキャリアパスの確立のために必要なことは何か。また、流動性の確保についてどう考えるのか。

## 4 大学運営マネジメント

- 各大学における教育研究機能を活性化させるためには、大学教員の運營業務に伴う事務負担が多いといった課題に対して、大学教員の時間が有限であり、健全な環境下で教育研究活動に従事することが第一であることを前提に、大学自らが運営マネジメントを確立し、ニューノーマル時代における教員の働き方改革を実践していくことが必要ではないか。この際、教員一人ひとりの教育研究活動のエフォートについても留意することが必要ではないか。
- 各大学においては、大学教員が行っている運營業務や事務作業等の内容を洗い出し、教員でなければ担うことができない業務であるか否かを整理・検証し、教育研究に専念する時間確保に努めることが必要である。また、大学全体としても運營業務等の見直しを行うことが不可欠であり、各大学において、会議や事務作業等の改善・効率化など生産性向上に向けて取り組むことが必要ではないか。

### 【検討の観点例】

- ・教員が教育研究活動に十分なエフォートを割くために大学運営に関する業務をどのようにして軽減していくことが考えられるのか。
- ・ニューノーマル時代における教員の働き方改革としてどのような点に留意することが必要か。例えば、チーム制、教員協働という考え方もあるのではないか。
- ・教員のエフォートの把握・管理についてどのように考えるのか。
- ・各大学において会議や事務作業等の改善・効率化を進めるために必要なことは何か。

- これまでの大学における教職協働の考え方から一步前進し、教育研究以外の運營業務については事務職員等に任せるといった考え方を浸透させ、大学の事務職員、技術職員やURAが果たす役割や重要性を共有し、その専門性を育成・強化していくことが必要ではないか。その際、大学運營業務を担うという観点から、事務職員等の職務内容を見直すことも必要ではないか。

### 【検討の観点例】

- ・事務職員が担う役割としてどのようなことが考えられるのか。また、どのような能力開発の仕組みが考えられるのか。
- ・例えば、アドミッションオフィサー、IR担当者などの役割や位置付けについてどう考えるのか。
- ・事務職員、技術職員、URA等が役割や重要性を果たすために必要なことは何か。

- 大学の教育研究機能を最大限に発揮していくためには、その根幹を担う教職員一人ひとりの評価だけではなく、学部・研究科などの組織単位において、大学のミッションや目指すべき方向性の中で、どのように貢献しているのかを把握し、評価していくことが必要ではないか。

**【検討の観点例】**

- ・学部・研究科などの組織としての活動を大学のミッションや目指すべき方向性との関係において評価することをどう考えるのか。
- ・また、どのような評価の在り方が考えられるのか。

- 大学において「教育」と「研究」を両輪として、いずれの質も高めていくためには、大学運営マネジメントを根本的に見直し、マネジメント層を中心として本気で取り組むことが不可欠ではないか。

**【検討の観点例】**

- ・各大学のマネジメント機能を高めていくために必要なことは何か。(例えば、マネジメントのシステムや人材育成など)